

印刷業の常識を、未来の当たり前に変える。

自主的取組を始めたきっかけ

印刷業界は、インキや洗浄剤の使用により、光化学スモッグやPM2.5の原因となるVOC（揮発性有機化合物）を排出する主要な産業の一つです。私たちは環境負荷軽減への取り組みを企業の責務と捉え、事業活動の根幹から環境負荷をなくすことを目指し、**廃液を出さず、VOCを大幅に削減できる水なし印刷**を2007年に導入しました。

取組の効果

印刷工程からのVOC排出量ゼロ（[日本WPA記事](#)）を達成し、都民の健康と大気環境の保護に直接貢献しています。また、環境マークを通じて顧客企業の環境配慮への取り組みを「見える化」し、社会全体の意識向上という波及効果を生み出しています。職場からVOCを一掃したことで、社員が健康リスクに怯えることなく働ける、**クリーンで安全な職場環境**も実現しました。

取組内容・特にPRしたいこと

地球環境保護の実現に向けて、有害な湿し水を一切使用しない「水なし印刷」へ全設備を転換。さらに石油系溶剤ゼロの「ノンVOCインキ」を採用で**VOC発生を徹底的に削減**。工場の使用電力の一部を自然エネルギーへ転換し、照明も電力消費の少ないLEDに変更。これにより火力発電由来の電力使用量を抑え、間接的に**NOxの削減にも貢献**しています。

今後について

印刷業を“**VOC排出の主要な事業**”から、コミュニケーションツールの長所を活かし“**社会に環境配慮の取り組みを広げる事業**”へと変えていきたいと考えています。VOCの削減に加え、脱炭素社会の実現に貢献するカーボンオフセット、ノベルティや装飾素材を環境配慮素材への切り替えを提供していきます。自社の取り組みからできる持続可能な未来づくりに、これからも真摯に取り組んでまいります。